2013～2014年度

茅ヶ崎中央ロータリークラブ

会　長　方　針

第30代会長　出　山　和　夫

2013～2014年度　ロン D. バートン RI会長　テーマ

「Engage Rotary Change Lives」

「ロータリーを実践し みんなに豊かな人生を」

《会長方針》

茅ヶ崎中央ロータリークラブも1984年の創立以来30年を迎えることになりました。
この間、先輩諸兄のご尽力により我茅ヶ崎中央ロータリークラブも徐々にではありますがしかし着実に成長してまいりました。
また、近年の我クラブの社会奉仕活動に於いても、率先して行動を起こし、あらゆる所で評価をされております。
この流れをさらに継続、発展させてゆかねばなりません。
その為にも、委員会の枠を超えて委員会活動を活発にし、メンバーの意思の疎通を図り、来るべき30周年事業へ全員一丸となって邁進していきたいと思っております。
今年度のロン Ｄ・バートンＲＩ会長のテーマは『ロータリーを実践し みんなに豊かな人生を』(Engage Rotary Change Lives) と掲げられました。
今年度はＲＩの戦略計画の３年目の最終年度となります。
相澤ガバナーの方針を充分念頭に置きながら事業を行ってゆきたいと考えております。
又、30周年を迎えるに当たり若輩の私が会長職を受けた以上、精一杯頑張る所存でありますが、メンバー諸兄の協力無しには一歩も前には進めませんので、是非メンバー全員で支えて頂くことをお願い致します。

《活動目標》

出席率の向上：出席はロータリーの基本、ひとり一人が80％以上の出席を
例会時の時間の有効活用（セレモニータイムのイノベーション）
創立30周年を会員家族全員で祝いたい

《奉仕プロジェクト委員会》

昨年度の大槌ホタテ組合支援事業のその後の支援継続の必要性と内容の検討

その他の奉仕事業への模索

《会員増強委員会》

昨年度に引き続き５名以上の増加（未充填部門を埋めるべく、候補者を探す）

週報・ＨＰの充実

「ロータリーの友」への投稿

《クラブ奉仕委員会》

例会のスムーズな運営を心がける

スマイル委員・出席委員・撮影者の固定化

《ロータリー情報委員会》

Ｒ財団・米山奨学に寄付をしたくなる様な説明を、易しく噛み砕いてメンバーにレクチャーして頂きたい

Ｒ財団のグローバル補助金、新地区補助金に関しての勉強会の開催

《クラブ戦略委員会》

短期的には今年度の例会時のセレモニーに対する検証

中・長期的には今年度の反省を踏まえ、もっと活力あるクラブ創りを探究する

地区出向者の増員及び育成の研究

《30周年実行委員会》

堀川実行委員長の下、各副実行委員長をリーダーに、活発な議論をして頂き、家族と共に30周年を盛大に祝いたい

幹　事

田　中　重　光

クラブ創立30年の今年度、以下の点に注意しながら幹事としての一年間を努めてまいります。
①いろいろな活動を通じ会員の皆さんのつながりをより強くできるように心がける
②会長・各委員会・30周年実行委員会などの運営がスムーズに進むようにお手伝いする
③当クラブとしての決まり事や手続き上のルールなどを分かりやすく整備する

会場監督

山　崎　正　三

例会形式は従来のスタイルを基本とする。
例会は定時に始まり定時に終わる。延長する場合、司会者は事前に予告をする。
各委員会と連携し、スムーズな例会進行を心掛ける。
例会出席の際バッジを着用　カジュアル例会月は名札のみ。
委員会報告・卓話等原稿を用意し発表する。
食事の無駄をなくす。事前連絡必ず実行。
スムーズな例会運営により、フリートーク「雑談」タイムを設定する。
年間定例行事についてはプログラム委員会と協議して、企画実施する。
テーブルへの着席は固定しがちになるため、多くの会員と交流できるよう工夫する。

委　員　森　下　行　由　野　﨑　幸　夫

会　計

内　田　誼　郎

クラブの財務状況を常に把握し年度終了後は速やかに会計報告を行う。

職業奉仕委員会(副会長)

熊　澤　信　行

副会長としては、出番のないよう、会長の健康を祈るのみです。
職業奉仕委員長としては、職業倫理について考える所存です。

クラブ奉仕委員会

委員長　神尾元洋

30周年を当クラブの親睦をよりいっそう深化させる機会ととらえ、姉妹友好クラブとの関わりや、クラブメンバー並びに家族との結束が深められるよう、各リーダーを中心に、委員会メンバー一丸となってクラブを盛り上げて参りたいと思います。

プログラムリーダー　木村康治

例年の行事に加え、30周年記念行事、事業を円滑かつ盛会とするためのプログラム作りを考えております。

親睦リーダー　倉知克則

クラブの基幹活動ともいえる親睦を、会員そして会員家族全員で30周年を大いに楽しんで、心に残る企画運営を行います。

●浜降際　7月15日（19日の移動）
●花火大会　8月3日（2日の移動）
●龍前院　9月23日（27日の移動）
●年次総会　12月6日
●クリスマス例会　12月20日
●最終例会　会長幹事慰労　6月27日

姉妹・友好クラブリーダー　丸山孝明

ロータリーのネットワークが与えてくれる機会の素晴らしさを、委員会のメンバーだけでなく、当クラブすべてのメンバーが体感できる機会をつくっていきたいと思います。

委員　小川一雄　高橋功　岩橋祥江　藤原琢也
成田耕一　高山正男　相馬秀幸　大村浪雄
赤間浩正　佐川悌吉　山本泰然　森下行由
山谷立　内田誼郎

会員増強委員会

委員長　松岡慶純

委員会で活発な議論を重ねながら、週報ならびにホームページの充実を図ってまいります。

また、会員増強に関しては、前年度からの良い流れを踏襲し、委員会メンバーの英知を駆使すると共に、クラブ全体で大きなムーブメントが創れるよう積極的に活動していきます。

クラブの広報活動と会員増強は表裏一体であり、ロータリーの友への寄稿など当クラブの特徴・個性を理解し、伝える働きかけをする事で、会員増強の好循環を生み出したいと考えています。

会員増強リーダー　峯山文明

1、年度内に5人の会員増強を計ることを目標とします。

会員申込書と入会の勧めの書類は委員が常に持っていることが望ましい。

2、メンバーの友人・名前は知っているが面識がない・当クラブので小分類の未充填職業分類数は（45名）になっているので当てはまる人等、新会員推薦候補者のリストアップ一覧表を作成します。
手法としては、知っている人を分類名簿に埋めていき、付き合いがある、顔見知りである、接触できる人が見つからないというように分け、クラブ会員全員に周知し、情報を集めて勧誘方法を決めて行動をおこします。

3、以前当クラブよりリストアップされていて、未だ入会していない人の今後の入会是非を再度確認する。

4、昨年の新会員による、当クラブに入会しての感想文寄稿の依頼、入会の勧めと共に推薦候補者に手渡す。

5、候補者と逢う時は、会長、会長経験者、推薦したクラブ会員による肩のこらない 会合を開く。

クラブ会員情報リーダー　**嵯峨野　貴　央**

ＷＥＢや「ロータリーの友」を活用して当クラブの活動を積極的にアピールする事で、会員に関してはモチベーションのアップと出席率の向上、会員以外の方には活動の協力や会員増に繋がる等、広報だけに止まらず相乗効果も生めればと考えております。また、昨年度から引き継ぎいたしました「私の仕事・あなたの仕事」の更新版を作成する事で、会員の交流ツールとして活用して頂けますよう努めてまいります。

会員選考・分類リーダー　**石　田　忠　勝**

会員選考については高い職業モラルを持っている事を基本として、予定者本人と面談しロータリーの知識、ルールを理解した上で入会していただく。職業分類制度とはその人が属する業界の代表者として選ぶ事であり、全てのロータリアンはその人が属する業界にロータリーが派遣した「大使」だという考え方に基づいています、依ってなるべく多くの業種にロータリアンを送るべく最近の新しい業種、業態も調査する。

委　員　**當　間　安　弘　　山　本　泰　然　　山　口　洋一郎　　湯　山　文　夫**
水　口　學　一　　城　田　安　正　　佐々木　保　博

奉仕プロジェクト委員会

委員長　**加　藤　順　一**

会長方針に基づき、各リーダーを中心に委員全員参加よる活動を実施していきます。30周年記念事業についても委員会として積極的に参加します。

社会奉仕リーダー　**山　口　　健**

昨年度同様に大槌ホタテ組合へ支援事業の継続を実施する。支援内容としては、茅ヶ崎三クラブの動向を見極めながらホタテ販路拡大についての支援を検討する。

国際奉仕・新世代奉仕リーダー　**池　亀　武　士**

過去に行なった国際奉仕事業の検証をおこない事業計画を実施する。
新世代についてはＶＴＴの受け入れを行ないます。

委員　湯山文夫　鈴木和男　山宮契谷　山田悦子
高山正男　岡崎将剛　堀口昌信　前川義則
大村浪雄　相馬秀幸　佐々木康弘　堀川正夫
野崎幸夫

ロータリー情報委員会

委員長　長田洋二

茅ヶ崎中央ロータリークラブも今期創立30周年を迎えます。

会員諸兄のご努力の賜ものにより、当クラブの会員も妥当数を保ち、かつ、活動資金も不足なく用意されております。他のクラブはともかく、恵まれた活動状況下にあると思われます。この先40・50周年と続きますが、私たちはロータリークラブの会員として、どの様な思考と行動を成すことにより、地域社会・国社会・世界社会に些細な力を奉仕出来るように、日常生活の中で、少しの時間でも思いやる気持ちを持ち、活動出来る会員としてありたいと感じます。

研修リーダー　山口洋一郎

ロータリークラブを正しく理解する為に、ロータリアンとして各種の研修及び実践をとうして、同時に知識の習得の助けになるような委員会活動をする。

ロータリー財団リーダー　高橋正純

ロータリー財団は、ロータリーは奉仕団体でもなく、寄付団体でもないという論理もあるが、ロータリーアンは「個人として寄付をすることによって、世界や社会に貢献すべきである」という論理に理解を示し会員皆様のご理解を得られるような、各種のプレゼンテーションを考えております。

米山奨学リーダー　三澤護

米山奨学生につきましては会員の皆様も十分に彼らの日本国への理解・役割に努力されていることをご承知のことと思います。厳しい予算のなかで、一人でも多くの世界各地の青少年と友好関係を保つことは、ロータリアン個人として大事なことと、会員各員の御賛助をお願いします。

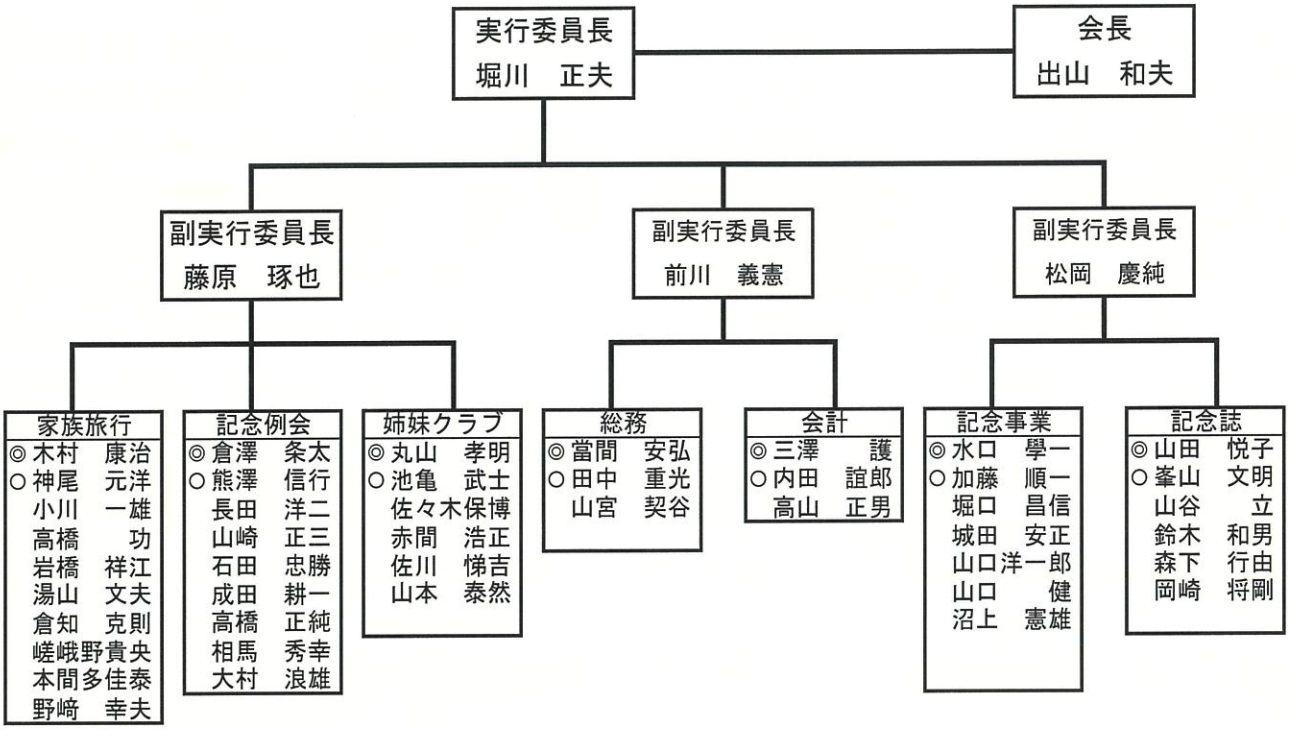
委員　當間安弘　沼上憲雄　小川一雄　山谷立
藤原琢也　山田悦子　本間多佳泰

〔皆で祝おう30周年〕実行委員会

実行委員長　堀　川　正　夫

「お世話になった方々への感謝の気持ちを大切にしながら、会員、家族の皆様と楽しい有意義な時を」を合言葉に会員一同一致団結し2013～2014年度、出山会長を先頭に皆様で知恵を出し合い30周年の節目にふさわしい時を刻みたいと思います。30周年記念例会は創立記念日に近い日程に茅ヶ崎で、式典、旅行は家族、姉妹クラブ、友好クラブの皆様と楽しい思い出に残る旅にしたいと思います。記念事業、思い出の記念誌は茅ヶ崎中央ＲＣらしいアイデアを会員皆様から提案して頂き全員参加の30周年にしたいと思います。会員各位の皆様のご協力をお願い致します。

茅ケ崎中央ロータリークラブ
30周年実行委員会組織表



クラブ戦略委員会

委員長　山　口　洋一郎

昨年度まで、主にクラブ組織、出席免除会員制度等の整備に当たってまいりましたが、今年度は、もっと活力のあるクラブづくりを目指して長期的視野に立って検討し提案していきたいと考えます。

尚、会長よりの意向により

・例会時のセレモニーの簡略化を含む検証
・名誉会員制度の見直し
・地区出向者の増員及び育成の研究

を短期的には検討していきます。

委　員　出山和夫　田中重光　堀川正夫　當間安弘
倉澤丈太　木村康治　水口学一　山口　健
池亀武士　沼上憲雄